

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	744 水防経費	会計	01	一般会計
		款	09	消防費
		項	01	消防費
基本 施策	15 自然災害等への十分な備えをする	目	04	水防費
		細目	401	水防経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	水防経費
担当部課	コード	220300	担当者 氏名	宮本 昌博
	名称	消防救急課		
		連絡先	24 - 9115 (内線) 726	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	災害が発生、又は発生する恐れのある地域住民	※対象件数
成果(どうする)	災害発生時、備蓄資機材を活用して初動体制を確保し、被害の軽減を図る	
根拠法令・要綱等	水防法	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H22 事業 内容	土のう袋・防水シートの水防資機材を購入し、災害の対応に備えた。また、道路等の危険箇所について、緊急表示を行うためのカラーコーン等を購入した。	
	社会情勢 の変化等	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
資機材購入	土のう袋	枚	目標 1500	目標 1500	1520	1500
			実績 1000	実績 1000		
資機材購入	水防用シート	枚	目標 50	目標 30	20	50
			実績 30	実績 30		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
資機材購入	災害発生に対応すべく土のう袋の保有状況	枚	目標 10000	目標 10000	10000	10000	
			実績 2800	実績 3800			
資機材購入	災害発生に対応すべく防水シートの保有状況	枚	目標 500	目標 500	500	500	
			実績 100	実績 130			

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	225	223	228	370
事業投入人件費(B)		0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
フルコスト(A)+(B)		945	943	948	1,090

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命・財産・権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
災害発生時における市民の安全確保が出来ず、生活環境の被害が拡大されるものと考えられるため、消防団員等が初動体制を確保するための資機材は必要不可欠。	○	
事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○	
基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○	
サービス水準や対象を見直す余地がある。		
当初設定した計画を	100%	実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】
予算の繰越の有無	無	
【予算の繰越がある場合、繰越の種類】		
他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
【事業名】		
受益者負担を求めることができる事業である。		
全体コストにおける負担構成は適正である。		
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	計画的に水防資機材の確保が必要である
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	資機材購入は、目標値より少なかったが、平成22年度は台風等の大きな風水害がなかったため、活用せず備蓄した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	福山 康宣
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	市民の生命・財産を守るために、台風や気象異常による記録的短期間大雨などの風水害等の災害発生に備えて、資機材を備蓄整備し、初動体制を確保する。
現時点における課題、その他	全国各地において、局地的な記録的短期間大雨により大規模な災害が発生しており、伊賀市においてもいつ発生してもおかしくない状況と考え、現状での資機材では不足が懸念される。また、災害時初動体制を確保するための資機材の備蓄は、今後も継続が必要。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	各地における災害を教訓とし、必要不可欠な水防資機材の計画的確保を行う。